

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公開番号】特開 2005-344124 (P2005-344124A)

【公開日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2005-049

【出願番号】特願 2005-241794 (P2005-241794)

【国際特許分類】

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 7 F 15/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 11/06 6 6 0

H 0 5 B 33/14 B

C 0 7 F 15/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 6 日 (2007.8.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 L_2MX (式中、 L 及び X は、異なったモノアニオン性二座配位子であり、 M は Ir であり、さらに前記 L 配位子は sp^2 混成炭素及び窒素原子を介して M に配位し；前記 X 配位子が $O-O$ 配位子又は $N-O$ 配位子である。) の錯体を含む、有機発光デバイスの発光層として用いるための組成物。

【請求項 2】

L が、2 (1 ナフチル) ベンゾオキサゾール、2 フェニルベンゾオキサゾール、2 フェニルベンゾチアゾール、7, 8 ベンゾキノリン、クマリン、フェニルピリジン、ベンゾチエニルピリジン、3 メトキシ 2 フェニルピリジン、チエニルピリジン、及びトリルピリジンからなる群から選択される、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記 X 配位子が、アセチルアセトナート、ヘキサフルオロアセチルアセトナート、サリチリデン、ピコリネート、及び 8 ヒドロキシキノリネートからなる群から選択される、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

前記 L 配位子が、フェニルイミン、ビニルピリジン、アリールキノリン、ピリジルナフタレン、ピリジルピロール、ピリジルイミダゾール、及びフェニルインドールからなる群から選択されて置換又は非置換の配位子である、請求項 1 記載の組成物。

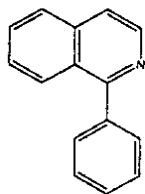
【請求項 5】

前記 L 配位子が、置換又は非置換のアリールキノリンを含む、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】

前記 L 配位子が以下の構造：

【化 1】

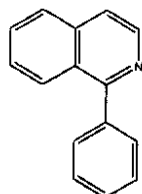


を有する非置換のアリールキノリンである、請求項 5 記載の組成物。

【請求項 7】

前記 L 配位子が以下の構造：

【化 2】



を含む置換アリールキノリンである、請求項 5 記載の組成物。

【請求項 8】

前記 X 配位子がアセチルアセトネートを含む、請求項 5 ～ 7 のいずれか一項に記載の組成物。